

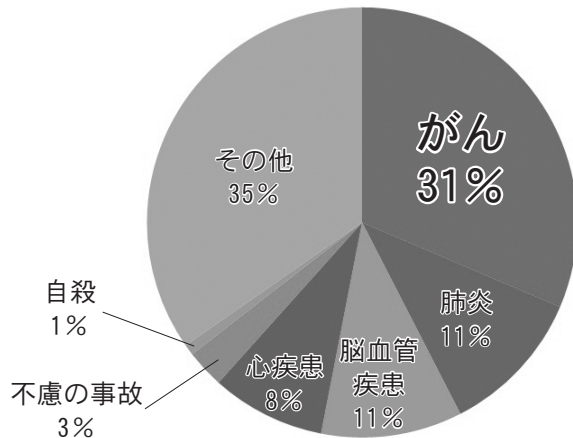


# がんから

# 命を守ろう

【お問い合わせ】 ふれあいセンター ☎ 2000

【図1】平成27年砂川市における死亡原因

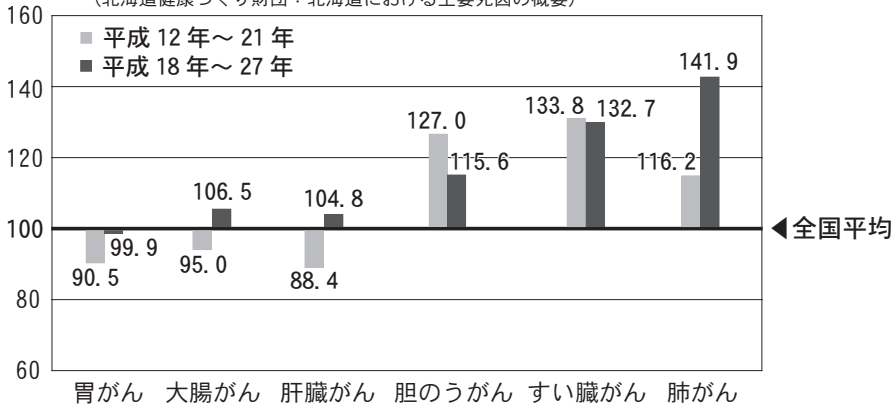


## がんの現状

がんは死亡原因の1位を占め、市内における全死亡原因の3割を占めています(図1)。砂川市のがんの部位別死亡状況を、全国の年齢構成を均一にした標準化死亡比でみると、全国平均に比べ、男性は肺がんによる死亡率が最も増加しており(図2)、女性は大腸がんと乳がんによる死亡率が大幅に増加しています(図3)。がん検診の受診率は年々減少が続いており、受診率の向上が課題となっています。

【図2】砂川市のがんの標準化死亡比(男性)

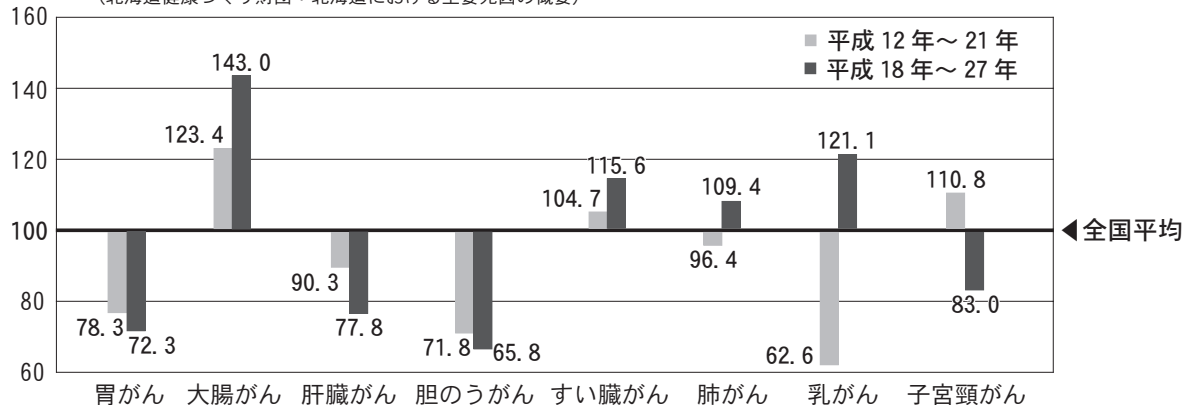
(北海道健康づくり財団：北海道における主要死因の概要)



がんは遺伝子が変化を起こすもので、原因は多岐にわたりますが、ウイルスや細菌、生活習慣が関連していることが明らかになっていきます。そして、一部のがんでは早期発見によって早期治療が可能になってきました。がん検診はがんの死亡率を減少させることができる確実な方法です。

【図3】砂川市のがんの標準化死亡比(女性)

(北海道健康づくり財団：北海道における主要死因の概要)



### 対策型検診の実施

市が実施するがん検診は、健康増進法により厚生労働省の指針に基づいて行われています。対象は、胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がんの5大がんです。これらは「対策型検診」といわれ、地域におけるがん死亡率の低下を目的に予防対策として実施されています。100%の精度を持つがん検診はありませんが、いずれも有効性の確立した検診方法とされています。

市では過去5年間の検診で48人のがんが発見されています。がん検診の目的は、がんを早期発見し適切な治療を行うことで、がんで死亡する可能性を減少させることです。特に無症状のうちのがんを早期に発見し、治療することが大切で、症状がないからといって精密検査や再検査

を行わずに放置しては検診を受けた意味がありません。検診を受けた後は必ず結果の指示に従いましょう。

### がん検診のメリット・デメリット

医学の進歩などにより、がんは現在約60%の方が治るようになりました。特に進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで非常に高い確率で治癒します。初期の段階で見つけるがん検診はがんの死亡率を下げるのに非常に有効と考えられます。

このようなメリットがある一方で、検診の欠点や検診を受けることによる不利益となるデメリットもあります。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、検査では見つけにくいがんもあり、すべてのがんが検診で見つかるわけではありません。また、がんではなくても精密検査と判断されることもあり、結果的に不必要な精密検査や治療を受けなければならない場合もあります。

このようなことを踏まえ、メリット・デメリットの両者を比べても、がんの早期発見と早期治療による救命ができるメリットの方が大きいと考えられます。がん検診について疑問点がある場合は、十分に説明を受け、内容を理解したうえで受診しましょう。

### がん検診の受け方

①ふれあいセンターで受ける(集団健診)  
胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの各種で検診日が決まっています。日時については広報すながわ4月1日号折込の「砂川市各種健(検)診等の日程表」でご確認ください。

②個人で病院で受ける(個別検診)  
市立病院にて乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診を通年受けることができます。

③無料クーポン券を使って受ける

21歳〜61歳の対象年齢の方に、子宮頸がんまたは乳がん検診の無料クーポン券を郵送しています。受診の方法については、クーポン券と同封の案内をご確認ください。

#### 【無料クーポン券対象年齢】

年齢は令和2年3月31日現在です。  
・子宮頸がん検診 21歳、26歳、31歳、36歳、41歳  
・乳がん検診 41歳、46歳、51歳、56歳、61歳

市では大腸がんが増加していることを踏まえ、積極的に大腸がん検診を受診していただけるよう呼びかけしています。今年度は大腸がん検診を受けた方に粗品のプレゼントがあります。検便検査で簡便な検査ですので、年に1回は検診を受けましょう

### 乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診

昨年受診された方も申し込みができます。国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者は、料金が半額となりますので、保険証を持参してください。

◆とき 7月7日(日)

◆受付時間

希望の受付時間を選んでください。

①午前9時〜9時15分

②午前10時〜10時15分

③午後0時30分〜1時

◆ところ ふれあいセンター

◆対象 女性

・乳がん 30歳以上

・子宮頸がん 20歳以上

・大腸がん検診(乳がんまたは子宮頸がん検診を受ける方のみ) 40歳以上

※ 年齢は令和2年3月31日現在

◆料金

・乳がん

50歳未満(マンモグラフィ2方向) 2,600円

50歳以上(マンモグラフィ1方向) 2,200円

・子宮頸がん 2,000円

・大腸がん 1,000円

◆詳細・申込 6月3日(月)〜21日(金)まで(ふれあいセンター)②2000円

0へ